

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (四国)	◎	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症が収束傾向にあり、今後景気は必ず良くなる。
	◎	一般レストラン（経営者）	・景気の更なる悪化となればもちこたえられない。
	○	商店街（事務局長）	・6月以降新型コロナウイルス新規感染者数が減少し、リベンジ消費を期待している。ただし、このところの物価の上昇や猛暑による出控えがブレーキとなり、手放しで喜べる消費環境ではない。
	○	商店街（代表者）	・ブロック割の影響で、観光客は増加している。一方、夜の街の人はコロナ禍前の水準までは回復しておらず、状況は以前と大きく変わらない。
	○	一般小売店〔生花〕（経営者）	・今年は商店街の夏の夜市も再開する予定であり、集客に期待している。
	○	衣料品専門店（経営者）	・賃上げや今夏ボーナス支給額が良いとの情報を聞くため、売上増加につながればよいと期待している。
	○	衣料品専門店（営業責任者）	・7月以降の全国旅行支援により心理的なイメージは改善され、直接的な影響はないが、消費意欲も上向くのではないかと期待している。
	○	家電量販店（副店長）	・梅雨明けが早く、猛暑の予報が出ており、夏物商材を中心とした売上が期待できる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・上海の状況によると、今後のメーカー生産台数は徐々に改善される。
	○	乗用車販売店（役員）	・世界的に新型コロナウイルス感染症に対する行動規制の緩和もあり、年後半に向けて生産が回復してくる。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・2～3か月先はお中元の時期となり、ビール等の飲料の売上増加が期待されるため、景気は少し良くなっていくと予想する。
	○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響も落ち着き、明るい兆しである。問題は客のお財布事情だけかと思う。
	○	旅行代理店（営業担当）	・全国旅行支援により旅行需要は増加する。
	○	通信会社（営業担当）	・コロナ禍は継続しつつも、客の動きが出てきており、少しずつ改善傾向にある。
	○	観光遊園地（職員）	・観光需要が増加する。
	○	美容室（経営者）	・このまま、新型コロナウイルス、インフルエンザの影響がなければ良いと思われる。ただし、物価高の影響が心配である。
	○	設計事務所（所長）	・休日に関しては来客が増加傾向にある。また、商店街に新たな出店も増加している。
	□	商店街（代表者）	・ロシアによるウクライナ侵攻により物流の停滞と価格高騰が多少なりとも影響し、必要以上に経費が上昇している。それに加え円安が追い打ちをかけており難しい局面が続いていく。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・今年に入り事態に大きな変化はない。新型コロナウイルスの新規感染者数は当地では幾分減少傾向にあり、その点は期待しているが、大きく影響するものではないと思われるため、当面、現在の状況が継続する。
	□	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・コロナ禍であり依然として気を緩められない状況のなか、物価上昇により家計がひっ迫し、消費者の買い渋りは継続する。
□	百貨店（企画担当）	・猛暑は来客数に大きな影響を与えるため、今後の見通しが立たない。	
□	百貨店（販売促進）	・新型コロナウイルス感染症の早期収束は見込めないとともに、国際情勢や値上げの影響を受け、購買意欲は上がってこない。	
□	スーパー（企画担当）	・今後も値上げの予定は続いており、事前のまとめ買いは続くともみられる。食品以外の値上げも続いていることから、見通しが立たない。ボーナスの支給状況により今後の動きが大きく変わると予想する。	
□	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス発生前の生活に戻る人は今以上に増加することはない。生活スタイルが二極化している状況がしばらくは続く。	
□	コンビニ（店長）	・多数の商品が値上がりするなか、相変わらず消費は厳しく、財布のひもは固い。夜の人の動きは依然として少なく、2～3か月先が良くなるとは言いがたい。	

	<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・ボーナス商戦に期待するが、値上げラッシュで例年よりもシビアになっている客が多い。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売業（営業担当）	・半導体不足は解消される見込みがないことから、当面は厳しい。
	<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新車受注は順調だが、半導体不足などによる長納期化が改善されない限り良くはならない。
	<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束傾向にあることに加え、県民割の効果もあり、人流が回復傾向にある。
	<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（経営者）	・物価上昇やエネルギー問題、人手不足等の課題が山積しており、景気の先行きについて判断することが難しい。
	<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・当県においては、新型コロナウイルス新規感染者数が100人前後で推移し、人口比率で全国8番目前後となっており、以前のような人出は見込めないことから、現状維持と予想する。
	<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・例年夏季になれば遍路客の仕事は全くなくなるが、猛暑が続けばタクシー利用客は増加することから、現在と同じ推移で継続する。
	<input type="checkbox"/>	通信会社（支店長）	・物価上昇のトレンドが落ち着く兆候がみられない。
	<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・周囲に余り変化はない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	スーパー（財務担当）	・外食産業への移行に加え、食品単価の値上がりで消費者の節約志向が強まる。
	<input checked="" type="checkbox"/>	コンビニ（総務）	・物価上昇の先行きが不透明であり、消費者は買物に慎重となり景気に徐々に影響していくと予想する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	コンビニ（商品担当）	・原材料価格の上昇や物価の高騰、円安などによる影響を受ける。
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他小売 [ショッピングセンター]（副支配人）	・燃料費の高騰や物価高が進んでおり、今後、消費マインドが冷え込むリスクが大きいように感じている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	通信会社（営業部長）	・度重なる値上げにより客の購入意欲は薄れると思う。
	<input checked="" type="checkbox"/>	競輪競馬（マネージャー）	・新型コロナウイルス感染症が更に収束すれば、人々の行動が様々な遊興に向けていくと予想する。
	<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・低価格や良質志向の消費者の拡大や少子化高齢化が景気悪化に拍車をかける。ウクライナ情勢が終息し、復興特需により経済にプラスになることを期待したい。
	<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・度重なる値上げにより景気は悪化すると予想する。
	<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・物価上昇が購買力を減退させる。
企業 動向 関連  (四国)	<input checked="" type="checkbox"/>	—	—
	<input type="checkbox"/>	食料品製造業（商品統括）	・食品の値上げが既成事実化され、ニュースとしての重要性が下がってきている。より適正価格へと進む雰囲気となっている。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（経営者）	・電子部品等の材料の入荷が遅れており、それに代わる代替品の開発に注力している。開発が順調に進み、製品の製造サイクルが正常に戻ると景気は上向く。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（経営者）	・ウクライナ情勢が気になるが、おおむね堅調に推移すると思う。今までの我慢の反動があるように感じている。
	<input type="checkbox"/>	通信業（企画・売上管理）	・目先の7月の売上見込みは良好である。8月以降もレジャー、イベント系の広告出稿を期待したい。
	<input type="checkbox"/>	通信業（総務担当）	・このまま社外イベントや社会貢献活動等の再開が続けば、新型コロナウイルス発生前の状況に近づいていくと考えられる。
	<input type="checkbox"/>	金融業（副支店長）	・仕入価格の上昇分を、順次販売価格へ転嫁できつつあることや、新型コロナウイルス感染症の影響も薄らぎつつあることから、アフターコロナに向けた経済環境になりつつある。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（経営者）	・原材料価格の高騰により客先に影響が出ておりマイナス要因もあるが、イベント等が規模を縮小して再開される計画もあり、総合的にはやや良くなる見込みである。また景気回復に伴い採用関係の受注もやや増加すると予想される。
	<input type="checkbox"/>	繊維工業（経営者）	・売上に関しては、今後訪日外国人観光客の受入再開により全国の観光地が潤い消費は増加する。原材料等の値上がりは、一部投機的な要素もあり、今後落ち着くものもあると思うが、全てが元どおりになるわけではなく、採算は厳しくなる。ものづくり、販売方法等様々な分野で、従来のやり方とは異なる新しい取組をしないと生き残れない。
	<input type="checkbox"/>	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・ウェットクリーナーとキッチンペーパーの工場を新設したが、思った以上に売上が伸びていない。需要はあるが供給もあるからだと思われる。外出の機会が増え、インバウンドが再開することにより売上は伸びると予想する。

	□	電気機械器具製造業（経理）	・ロシアによるウクライナ侵攻の長期化及び円安基調による物価高に伴い、ウィズコロナによる経済や社会活動の改善が打ち消されてしまっており、景気動向としては変わらないと推察する。
	□	建設業（経営者）	・公共事業は堅調に推移すると思われるが、新型コロナウイルス感染症や物価高、特にガソリンや電気などのエネルギー料金、電力需給状況の逼迫の懸念、さらにはウクライナ問題など、不確実な事象が山積している。特に、今後数か月間は注視が必要と思われ、景況感は現状維持が精一杯と考える。
	□	建設業（経営者）	・民間工事の受注状況が気がかりである。
	□	輸送業（経理）	・客からの輸送計画も大きな変化はない。
	▲	木材木製品製造業（営業部長）	・大手住宅メーカーの受注棟数が伸びていないことから、今後の受注はダウンすると予測される。政府の景気刺激策に期待する。
	▲	化学工業（所長）	・今後も原油やナフサの価格動向が不透明な状況に変化はないものの、原油価格の高騰も一旦夏場がピークという予測が一部あることからやや悪くなると予想する。
	▲	一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大防止策や各種政策の効果により、持ち直しの動きが続くことが期待されるものの、ウクライナ問題、原材料価格の上昇、調達環境の制約、各国の金融政策等不透明な状況が深まっている。
	▲	輸送業（営業）	・取扱物量が減少傾向にあり、物価上昇による消費財の値上げを要因とした消費者の購買低迷が影響していると感じる。
	×	農林水産業（職員）	・青果物の価格は、出荷者が決められないことから、生産費を反映させた価格がつかない。また、加工食品などは値上げが続いており、量販店は客寄せのため青果物を安価に販売する傾向がみられる。量販店の販売シェアが高いなかでは市場原理を働かせることは至難の業である。国の農政を根本から変えない限り、農業従事者の所得減少に歯止めがきかない。食料安保政策に懸かっている。コロナ禍の影響も続いていることも大きい。
	×	食料品製造業（経営者）	・ウクライナ情勢、円安により原材料の仕入価格が急激に高騰しているが、しばらくは改善されず、製品のコストアップを全て販売価格に転嫁できず、利益率は悪化する。
	×	税理士事務所	・新型コロナウイルスの感染が収束せず、ロシアのウクライナ侵攻や円安の影響で物価高が止まらず、経費が大幅に増加する可能性がある。
雇用 関連 (四国)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期に入り求人数の増加が予想される。
	○	学校 [大学]（就職担当）	・人の動きが少し活発になってきている。
	□	人材派遣会社（営業）	・夏休みシーズンとなり、前年度自粛していた旅行など県をまたいだ移動の増加に伴い、各公共施設、公共交通の利用者は増えそうだが、物価高や例年にないほどの猛暑で人流がどう動くかが景気の動向に影響すると予想する。
	□	求人情報誌（営業）	・人材採用面でみると、どの企業も充足のめどが立っておらずこのまま人材不足が続いていくと予想する。
	□	新聞社 [求人広告]（担当者）	・物価の上昇などによる個人消費の落ち込みが企業の広報活動にも影響している。
	□	職業安定所（求人開発）	・夏場で新型コロナウイルスの新規感染者数は減少することが予想され、求人数は増加するが、原油価格の高騰が悪影響を及ぼす。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・派遣依頼企業の数が増減してきており派遣業の景気を不安視する。
	×	—	—